

今を未来に

運動会の練習が始まりました

学年・学級だよりでもお知らせしてきましたように、昨日から運動会の練習が始まりました。

保々小学校では、次のことを運動会のねらいとして取り組んでいきます。

- ①体育科で学習した内容を中心とした学習成果を発揮するとともに、体力づくりへの意欲を高める。(やってみる)
- ②友だちと力を合わせ、競技や演技、応援、会の運営などに取り組むことで、互いのがんばりを認め合い、よりよい人間関係を育む。(つながる)
- ③集団において自分の役割と責任を果たし、主体的に行動する。

(じっくり・やってみる)

また、運動会の子どもたちの実行委員会では、次のことを目標に決めてくれたようです。



力を見せよう！ 保々キッズだましい！

各クラスではここにある「力」とは何かを考え合い、目標達成に向けて、子どもたち同士・先生同士、そして先生から子どもたちへ声を掛け合い、練習を進めていきます。



運動会に向けて、保護者の方から「徒競走で順位をつけませんか。」「学年代表のリレーを入れてはどうか。」「お楽しみだけで終わらないように。」というご意見をいただきました。

(1) 徒競走の得点と順位について

私が教員として勤めているときに得点競技から抜いたことを覚えています。理由は、

- ①他の競技がねらいにあるように「みんなの力を合わせた結果」であるのに対し、徒競走は個人競争であること、②その徒競走で出る得点差が優勝を左右してしまっていていいのかと考え、得点には入れないことにしました。

順位については昨年度もつけていたのですが、等旗のもとに並ぶことはして

いませんでした。最後まで全力で駆け抜けることに値打ちがあることを子どもたちには伝え、子どもの成長に合わせて走る組み合わせ方法を考えました。ただ、順位も全力で走るための動機になりますから、今年度は決勝係の子が順位ビブスをつけて、一人ひとりに順位をはっきり伝えることにしました。

（２）学年代表リレーについて

昔は地区対抗リレーや代表リレーは小学校の運動会でもありました。私も走ることが大好きだったので、代表になるため一生懸命に走る練習をしていたことを覚えています。他の競技と切り離して考え、競技にするか検討をしましたが、運動会のねらいから、見送ることにしました。



（３）お楽しみだけで終わらないように

おっしゃる通りです。最初にお伝えしましたように、体育科で学習した学習成果の発表の場であり、友だちと力を合わせ、互いの頑張りを認め合うことをねらいにしています。団体競技の内容を考える時、こうした声が保護者の方にあることを職員には伝え、団体競技を何にするか考えてもらいました。子どもたち自身が「協力したから勝てた。」「負けたけど頑張りができた。」と、感じられるようにと思っています。また、全校種目を今までの「大玉運び」に加えて、「綱引き」を入れました。低・中・高学年で少しずつルールをかえていきます。ご期待ください。

先週の土曜日に入退場門の色の塗り直しをしていると、子どもたちが寄ってきてくれました、「何しているの？」と聞かれたので、「みんなが楽しみにしている運動会だから、校長先生も何かできないかなと思って門の塗り直しをしているの。」と答えました。逆に私から「運動会は何を一番頑張るの？」と聞いてみると、３年生の子は「私はソーラン節やに。もう練習３回したけど、ほとんど覚えたよ。」と嬉しそうに話をしてくれました。とても嬉しそうに話をしてくれたので、私まで運動会がうんと楽しみになりました。

家庭訪問 ありがとうございました。

少し遅くなってしまいましたが、家庭訪問にご協力いただきありがとうございました。この４月から５月にかけての家庭訪問は、子どもたちの家を知り、これから何でも話ができるきっかけになればという意味を持っていると考えています。担任をしていた頃は、家庭訪問が終わった子とまだの子とで、心の距離がちょっと違うように感じたものでした。特に小さい学年の子は、そんな気持ちで担任の先生を待っていてくれたのではないのでしょうか。

限られた時間で家庭訪問ですから、おうちの方からも「家庭訪問が終わって、担任の先生と話しやすくなった。」と言ってもらえると嬉しいです。

